

令和6年度 第2回 中能登町立中能登中学校 学校運営協議会 会議録

【日 時】	令和6年11月12日（木）14：35～16：15
【会 場】	中能登町立中能登中学校 会議室1A
【出席者】	大西 保、岡下 哲也、古玉 路子、鳥木 教文、藤田 典知 水谷内 良郎 学校長（50音順） 学校代表者：山森 和子 教頭
【欠席者】	木村 実貴絵
【事務局】	学校教育課：高木担当課長 生涯学習課：大野主査 中瀬主事 山口
【次回予定】	令和7年2月6日（木）

【進行】中能登中学校：山森教頭

1. 開会あいさつ

《大西会長》

お集まりいただき、ありがとうございます。今日の議題テーマは3点。限られた短い時間だが、生徒や先生の笑顔に繋がれば良い。よろしくお願い致します。

2. 学校経営中間報告 ～資料を基に説明～

【質疑応答】

- 学校評価の中で、自転車のマナーが悪いという意見も挙がっているが、自分が見る自転車通学の生徒はマナーが良く、意見とは逆に感心している。
⇒運転手にも確認してもらう必要がある。子どもの送迎でマナーを守っていない保護者も多い。
⇒学校からも周知に向けた発信はしているが、なかなか課題解決には至っていない。今後は、止まって手を挙げ、自動車に気づいてもらうなど、生徒のマナーを見直していくことも必要。
- ネットワーク回線速度に改善を求める声が挙がっているが、町は把握しているのか？
⇒通信速度は、以前に比べ改善はされている。クラウド等の環境整備に向け、現在協議中。

3. 協議

①しごと館のサポート ～資料を基に説明～

【質疑応答】

- 規模がコンパクトになったため、参加しやすくなったのではないかと。各教室、全学年が入っており、学年間の交流が持て、とても良かった。講師の方からの一方通行が多かったが、相互交流のような形が取れば、より充実するのではないかと。
- ⇒講義のみの教室と、体験を交えながら動きのある教室があった。事務方の職種の講義も動きがあれば良かったのではないかと感じた。子どもたちの積極性もあれば良かったのではないかと感じるところもあった。
- 令和6年度の目標として、「復旧に尽力している人達がどんなことをしているかを通じて仕事を感じてもらう。」とあるが、達成具合などの情報があれば教えてほしい。
- ランチルームで実施していた講義のマイクボリュームが大きすぎて、隣で講義を実施していた家庭室に音が届き、気になった。講師の方に気を遣わせてしまうのが申し訳なかった。
- 去年もそうだったが、部活動の大会としごと館の時期が重なることが多い。参加できない生徒も多いため、可能であれば、日程を検討頂きたい。
⇒当日は部活動の大会や地域の祭事で参加できなかった生徒が多かった。来年度は、開催時期をずらしていく方向で話を進めていきたい。
- しごと館に参加し、生徒の様子を見るというよりも、講師の方の話に惹かれ、「自分もなってみよう！」と感じた。女性の仕事の活躍の場が広がっており、すごく良い講義を聞くことができた。
- 頂いた意見を来年度のしごと館に携わる皆さんと共有していきたい。震災を受け、色んな人たちが復旧に尽力してくれているので、PTA研修部から震災をテーマにする声が挙がった。やらなければいけないことをシンプルにすることで、PTA研修部の皆さんが楽しいものと考えていくソースを

出していければ良い。手引きとして残していきたい。

- 地震については、大きな災害が地元で起こり、今年、来年と事態が収まるわけではない。風化させないという意味も含めて、復旧作業に携わっている方々からお力をお借りし、今後も、防災についての教育を引き続き実施していくべきだと考えている。

③部活動地域移行 ～資料を基に説明～

【質疑応答】

- 部活動地域移行の現実的な課題は？
⇒すでに指導者がいる部活動に関しては、比較的スムーズに移行していけないかという認識でいる。大きな課題としては、活動時間・活動場所の確保に関すること、指導者・保護者の事務的な負担等に関すること、活動のサポート体制に関することが主な3点。
- 部活動地域移行に対する地域の方と生徒のズレは感じるか？
⇒感じていない。どちらも win-win な関係なのではないかと感じる。
- 道の駅おりひめのところに、「〇〇大会出場！」などの懸垂幕が掲げられているが、子どもたちに夢を与えてくれると思うので、活躍されている OB・OG の皆さんが生徒と接する機会なども、いつか設けることができれば良い。
- 令和6年度は移行期でもあるので、子どもたちの混乱が少なくなるよう、休日活動に参加の意向を示してくださっている先生方には「兼職兼業」として指導にあたっていただく方向で進めている。令和7年度以降は、少しずつ地域の方へシフトしていけるように調整していきたい。

④より良い教育環境・働き方改革に向けた取り組み ～資料を基に説明～

- 手を増やさず、「今ある行事に、地域の方が参加する。」というのが一番良いのではないかと。学校や先生の負担にならないものであれば良い。

【学校周辺の環境整備・安全確保について】

提案1) 地域の方とのクリーン活動

- 地域の行事を企画している方から、会場周辺をボランティアで掃除してくれる生徒はいませんか？との投げかけがあった。
⇒タイアップできるのであれば、希望を募り、少ない人数でも対応できればと思っている。
⇒鳥屋小では、「クリーン&グリーンデーを通じて近所の人と顔見知りになる。」といった意見が出て、中学校では、昨年、1年生の総合学習で「ポイ捨てをなくすにはどうしたらいいか？」というテーマで、「ポイ捨てはだめ！と、指導する日を作ればいいのではないかと」と発言していた生徒もいた。クリーン&グリーンデーなどで、負担なく、うまく関わり合っていければ良い。

提案2) 見守り活動

- 4月にPTAや地域の方を交え、あいさつ運動・交通指導をしていただければ、子どもたちのマナーが、より改善される。
⇒町としても、グッドマナーキャンペーンなどで周知していく。

【地域との交流・体験について】

提案1) 学校祭（合唱コンクール・体育祭）

- 学校としては、すでにHPなどで地域の方の参加も促している。
⇒今後、コミュニティ・スクールと連携して、周知活動をより充実させていく。
⇒地域の方が学校の行事に入っていただくことはありがたいが、椅子やテントの配備などを求められると、学校としては困るし、負担。
⇒地域の人間からすると、学校の行事などを見学できるのは嬉しいこと。
- 合唱コンクールの審査を、地域の方にお問い合わせするのはどうか？

提案2) 作品展示

- 町の文化祭では会場で作品展示させてもらっているが、その他は校内展示のみ。
⇒町施設に展示することも可能だし、協力してくれる企業・施設・団体さんはいらっしゃると思う。地域の方の目に留めてもらえるよう、町としても協議していく。
⇒ラピア鹿島にも展示できるショーケースがある。そういったものを活用しながら、町で一つの中学校をサポートしていきたい。

5. 閉会あいさつ

《岡下副会長》

活発なご意見をいただき、ありがとうございました。今日の協議で、学校運営協議会としても更に一歩進んだのではないかと。会長からも、「学校を笑顔に、元気にできるような協議会にしていきたいと思います！」とあったが、学校は受験を控え、これから更に大変な時期に入る。校長先生をはじめ、中能登中学校を心から応援しているので、今後も頑張ってほしい。本日は、お疲れさまでした。